

# 医療法人が行うヘルスケアビジネス 『心・技・体』

—自立を目指した生活リハビリテーション—



- ◆あすかクリニックセンター乙吉
  - あすかクリニック
  - あすかデイケアセンター



- ◆あすか福祉センター中ノ島
  - あすかデイサービスセンター
  - あすかケアホーム
  - あすかシルバーホーム
  - あすかヘルパーステーション

医療法人 あすか  
理事長 井上 貴雄

# 本日お伝えしたいこと

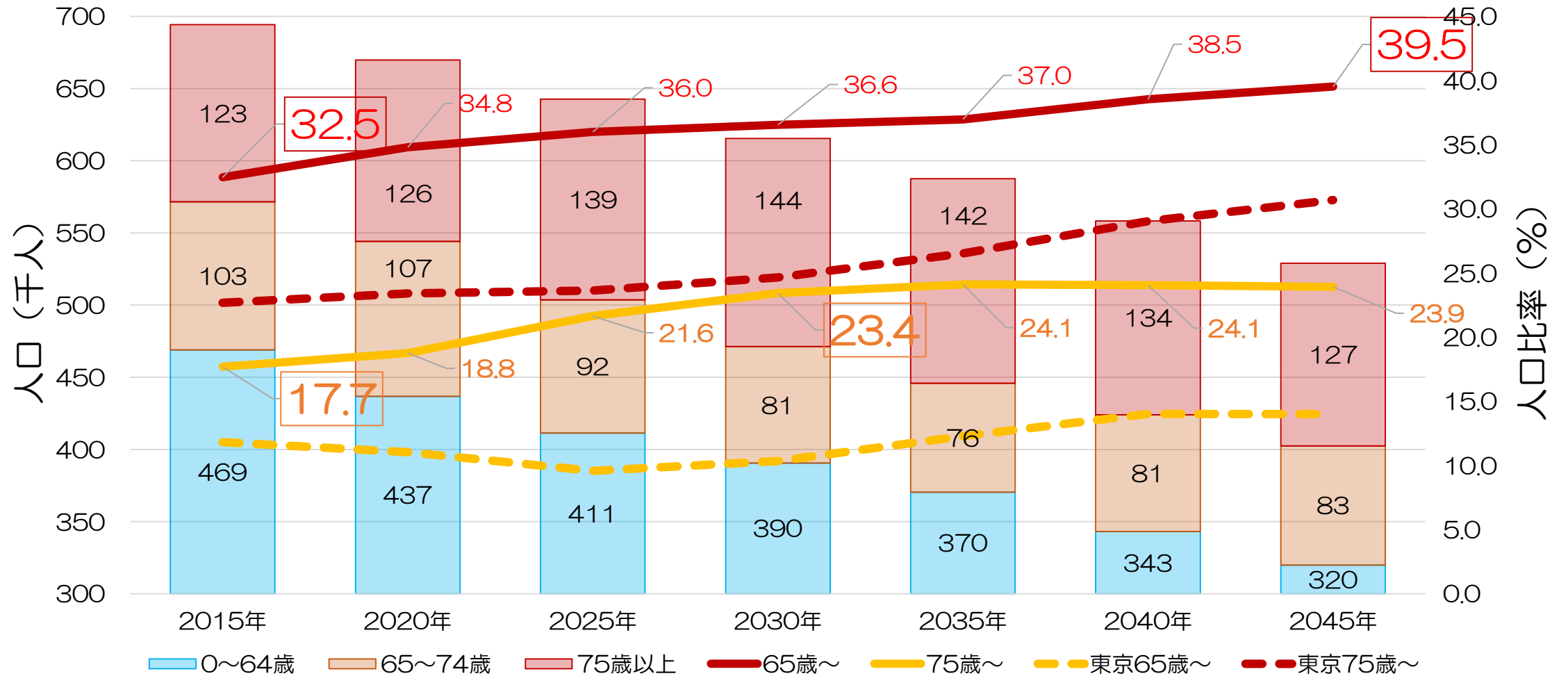
1. 背景と問題意識
  - 高齢化の推移と将来推計
  - 高齢者の有訴率と日常生活への影響
  - 社会保障と医療費
2. ヘルスケアビジネス
  - 健康寿命延伸
  - 社会保障費の増大の抑制
3. 当法人の行うヘルスケアビジネス
  - 益田市の地域課題
  - 地域課題を解決するために行ったこと

## 背景と問題意識

- 高齢化の推移と将来推計
- 高齢者の有訴率と日常生活への影響
- 社会保障と医療費

# 島根県の将来推計人口

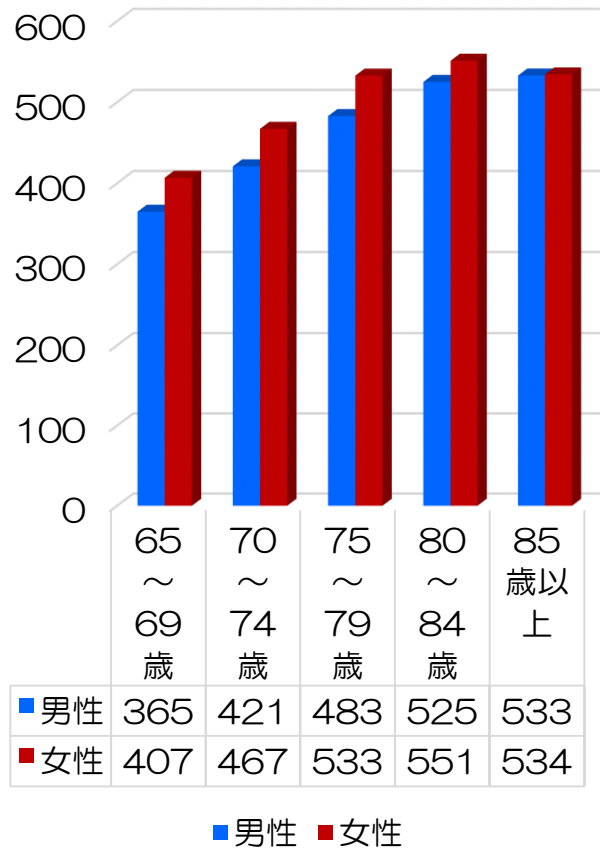
2018年推計、2015年は国勢調査による実績値、高齢者率は東京都と比較



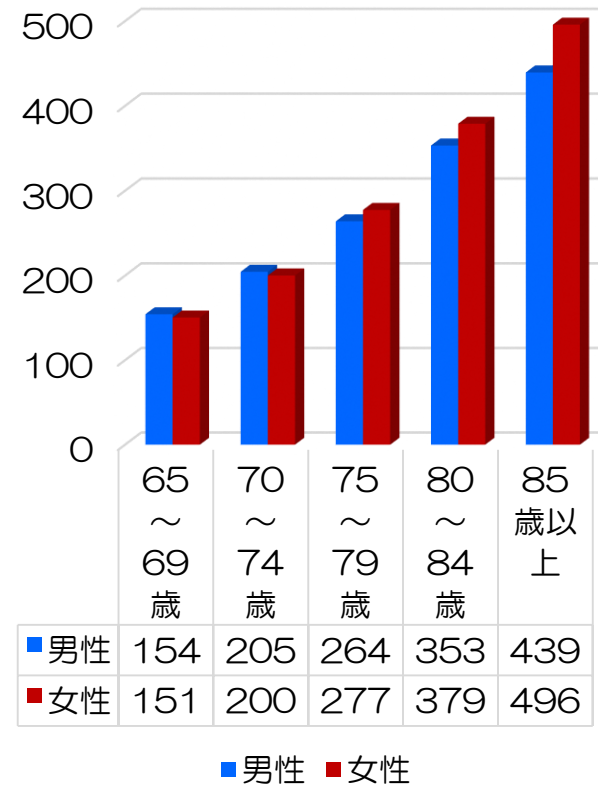


# 65歳以上の高齢者の有訴者率及び日常生活に影響のある者率

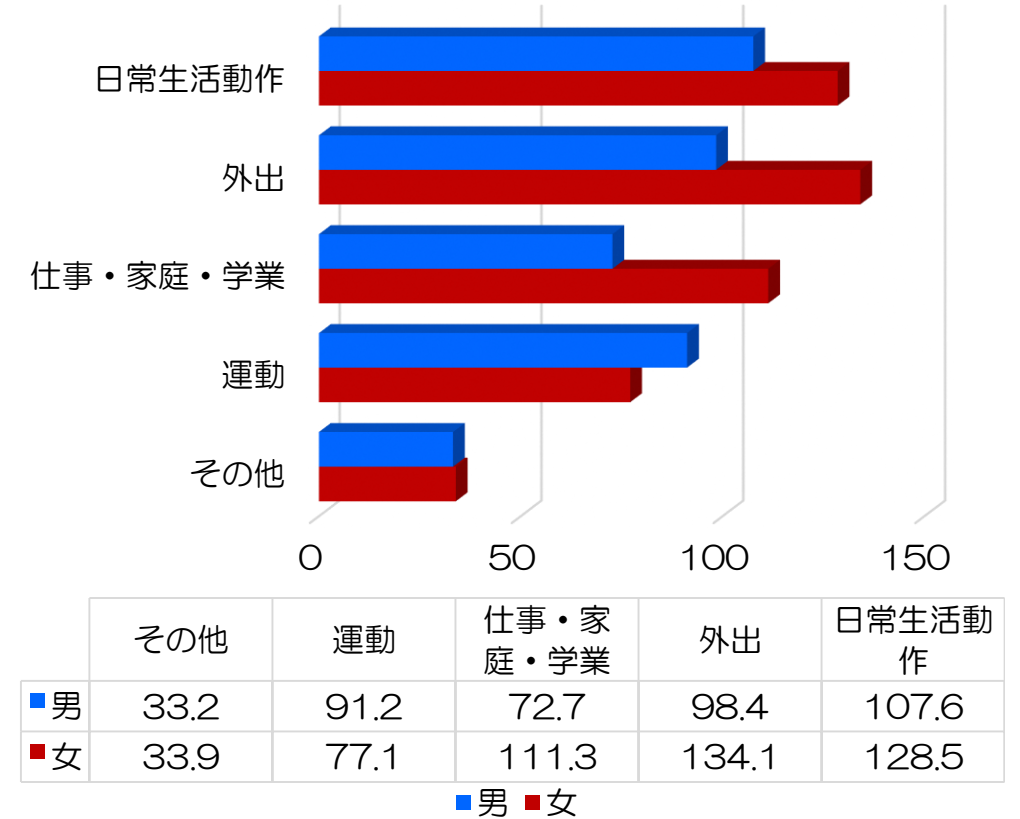
有訴者率（人口千対）



ADLに影響のある者（人口千対）

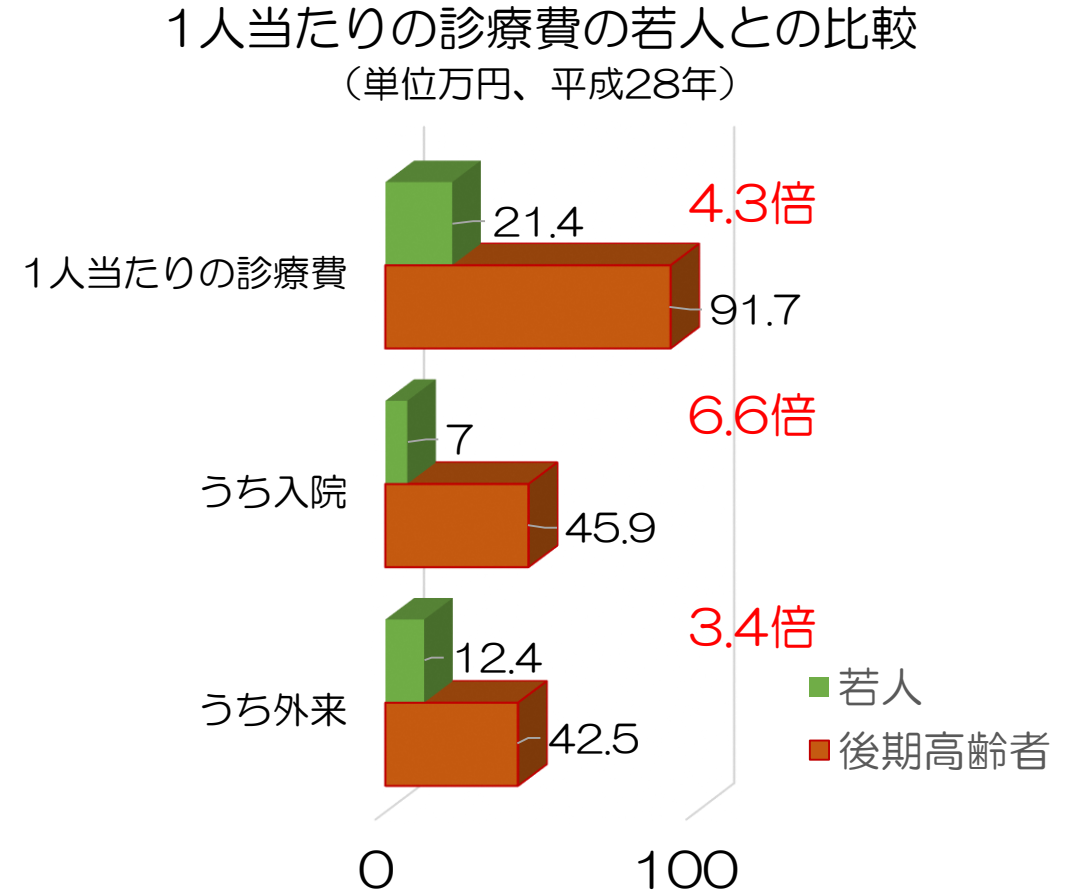
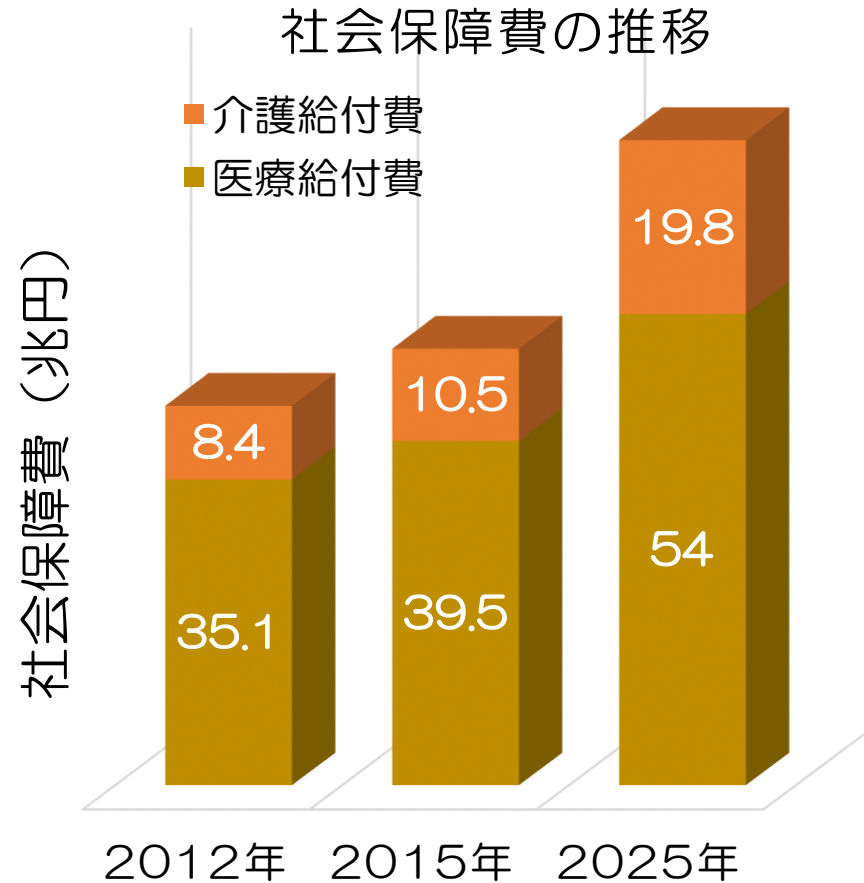


ADLに影響のある内容（複数回答、人口千対）



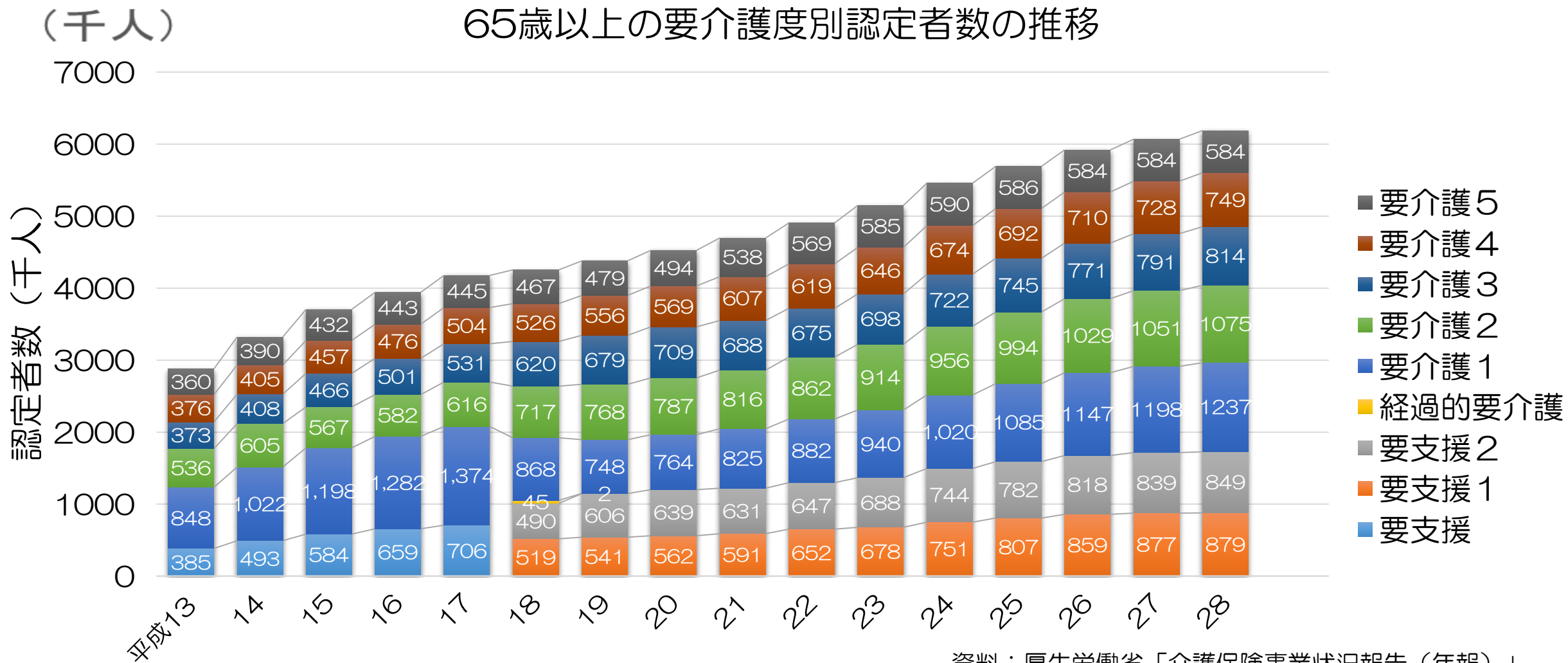
資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」（平成28年）

# 我が国の社会保障費の推移と後期高齢者の医療費から見た特性

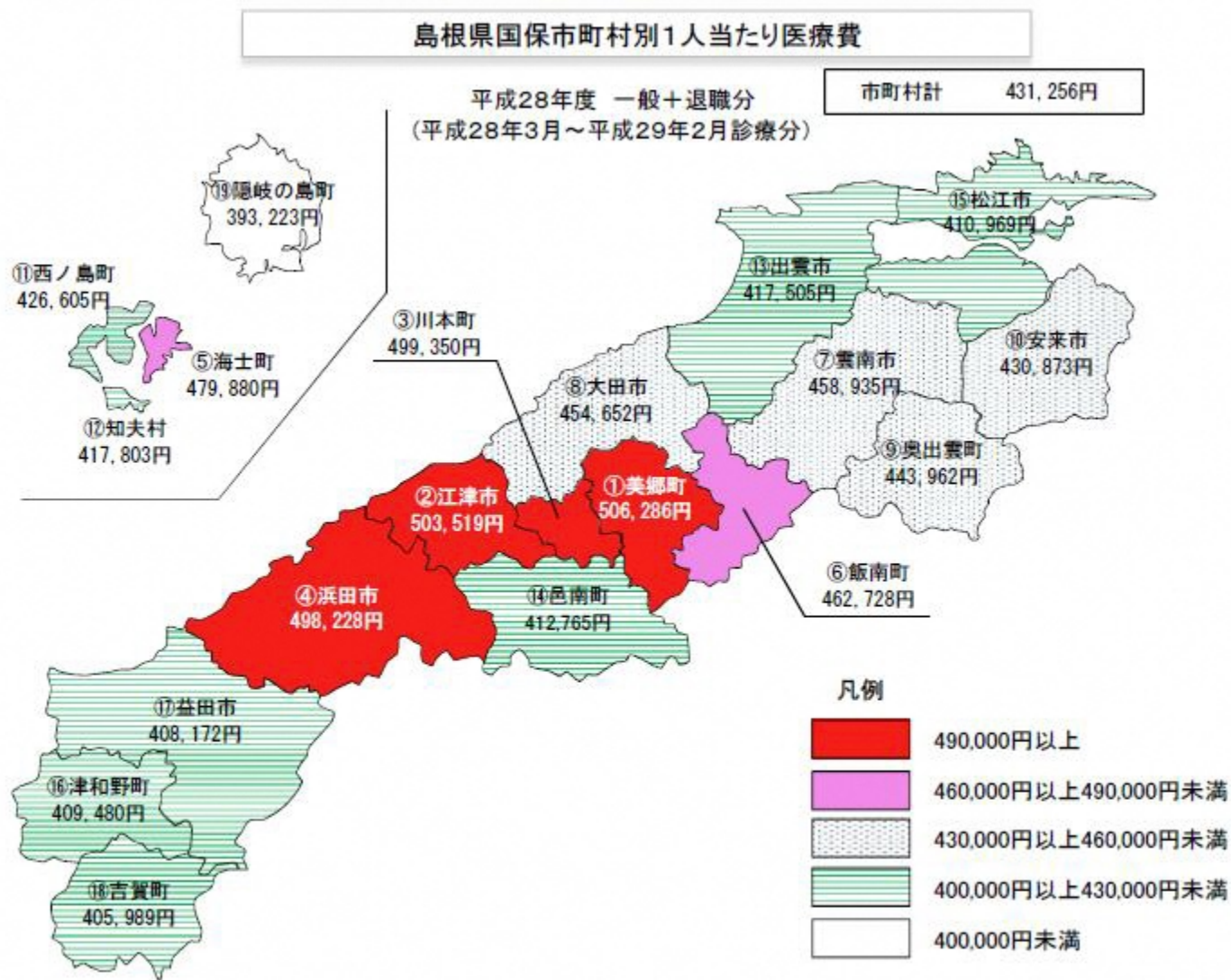


(厚生労働省、医療保険に関する基礎資料平成31年1月)

# 高齢者の介護認定の推移



# 島根県内地域毎の医療費（1人当たりの医療費）



平成28年3月～平成29年2月の島根県国保市町村別1人当たりの医療費を地域毎に比較すると、①美郷町506,286円、②江津市503,519円、③川本町499,350円、④浜田市498,228円と高く、当法人のある益田圏域は⑯津和野町409,480円、⑰益田市408,172円、⑱吉賀町405,989円と低い傾向にあった。  
(2017.8.17島根県国保運営協議会資料)

※1人当たり医療費…年間総医療費(医科、歯科、食事・生活療養、調剤を対象)を平均被保険者数で除した額

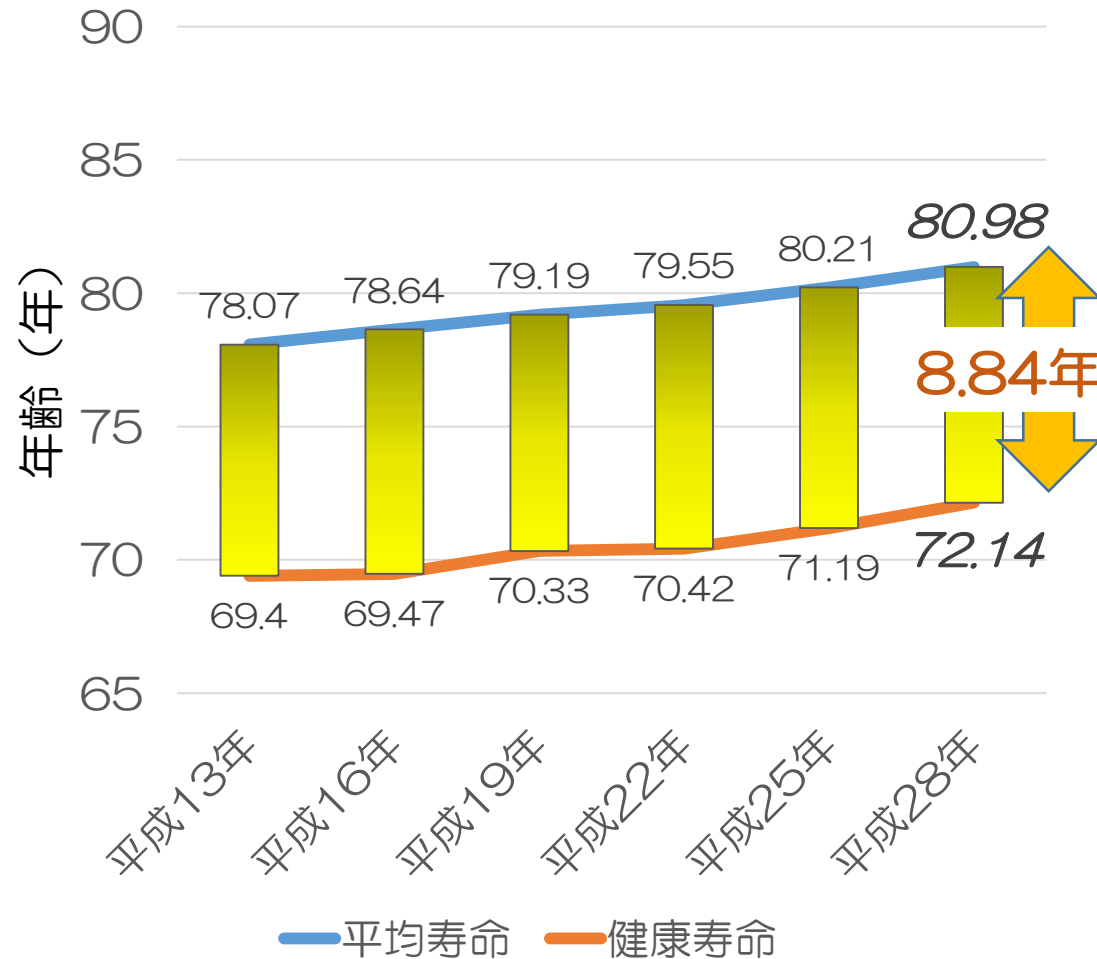
# ヘルスケアビジネスの目標

- 健康寿命延伸
- 社会保障費の縮小化

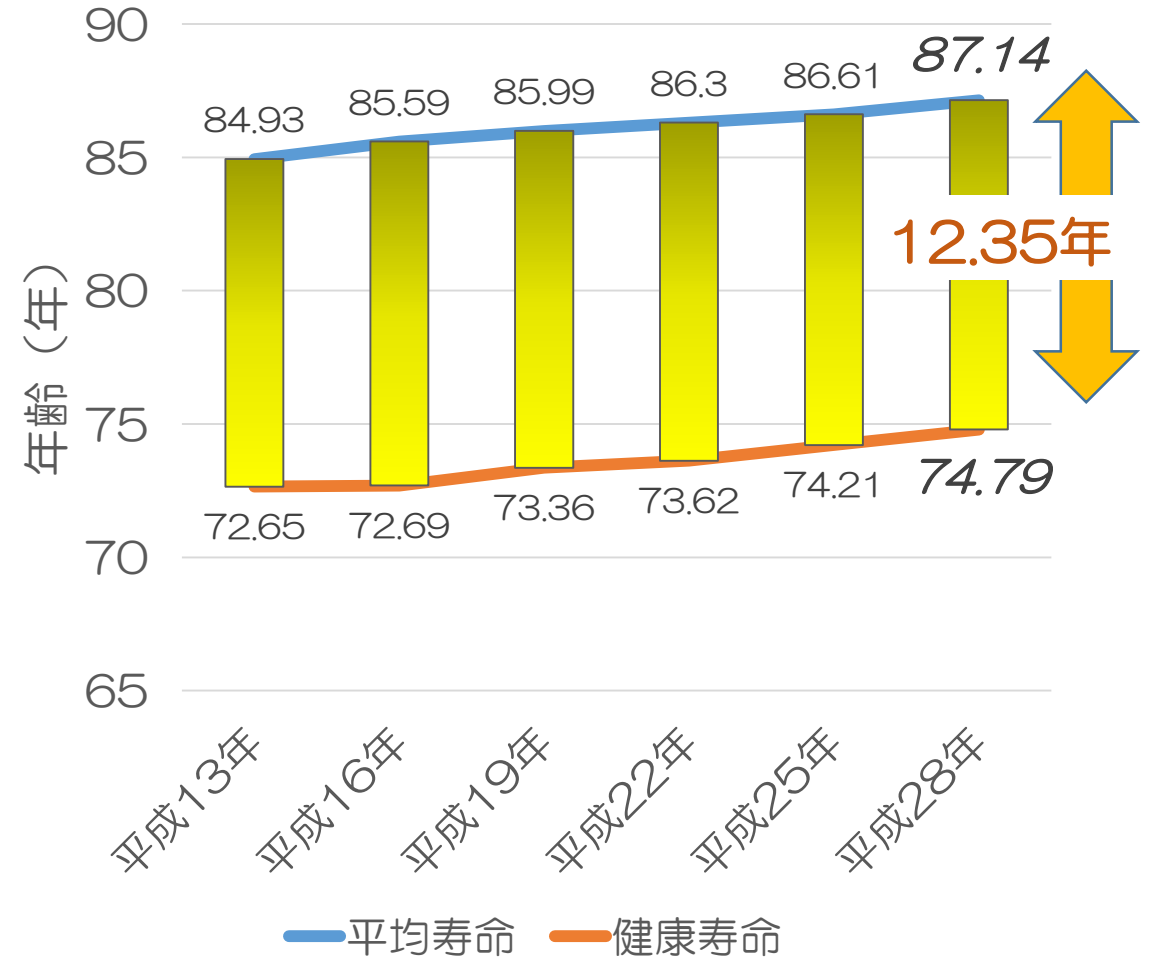
# 平均寿命と健康寿命の推移

「健康寿命」 日常生活に制限のない期間  
 「平均寿命」 0歳の平均余命

## 男性



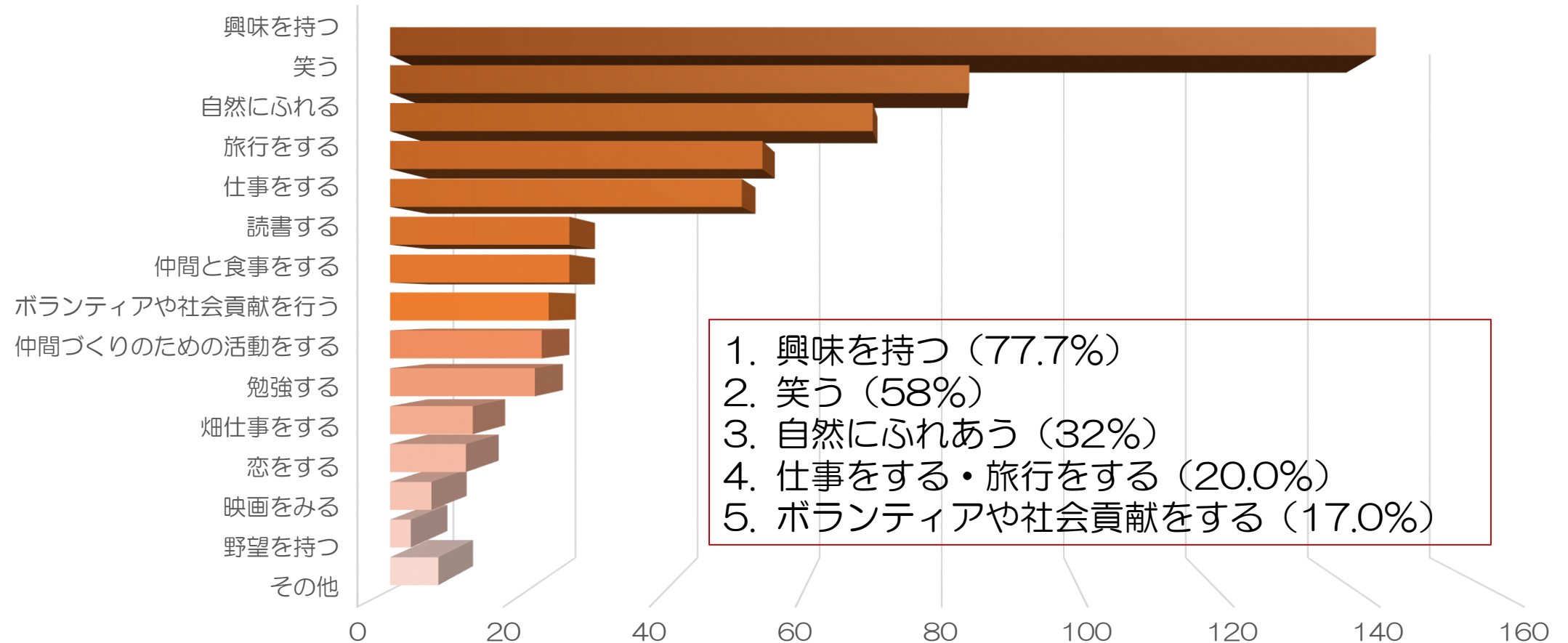
## 女性





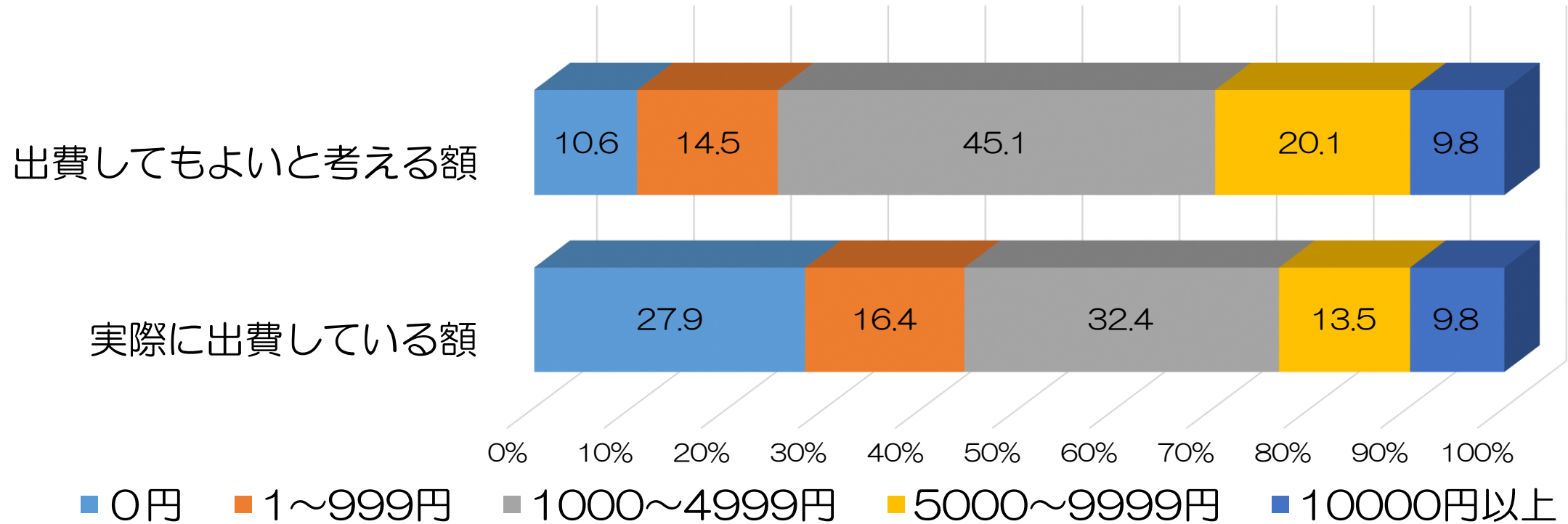
# 60歳代の方に、健康寿命延伸のために重要だと思うことについて

健康寿命の延伸のために重要だと思うこと（60歳代男女200人の回答）



# 健康行動

1か月に健康管理のためにいくら使えますか？  
実際に1か月にいくら使いましたか？

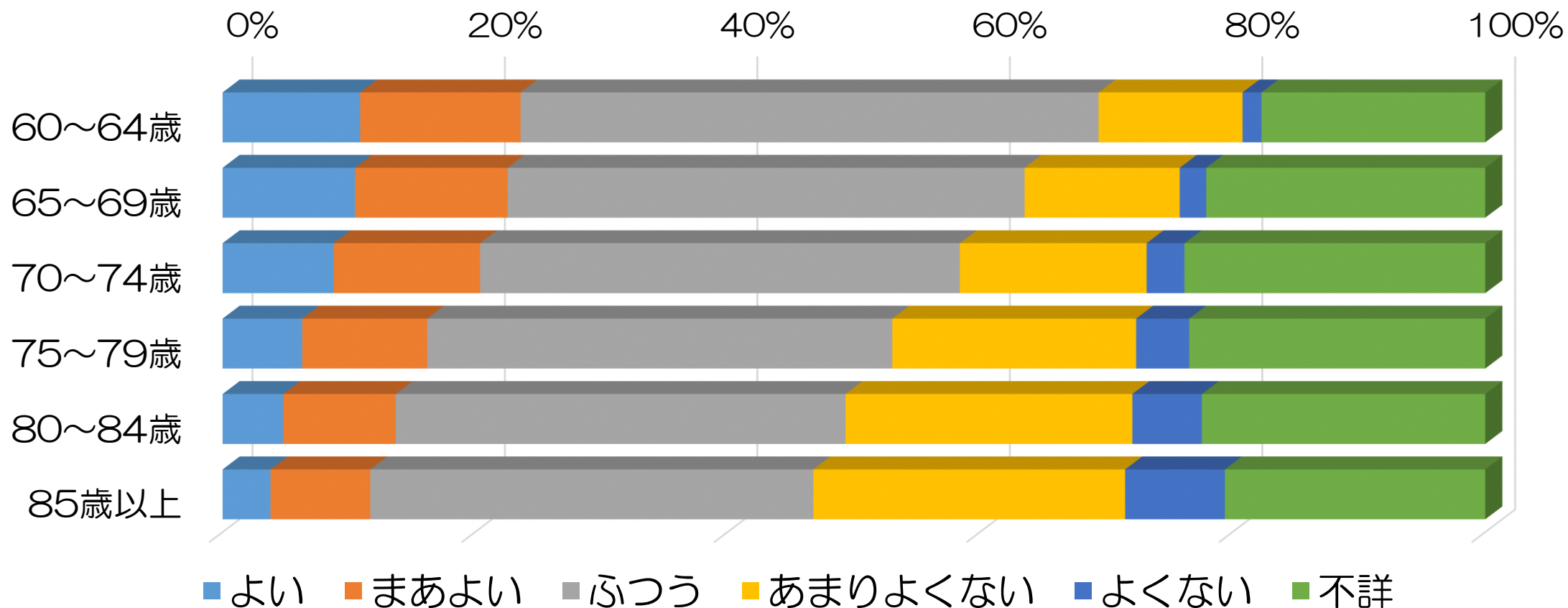


少子高齢社会等調査健康事業報告書（みずほ情報総研株式会社、H26年3月）から抜粋



# 健康状態に関する意識

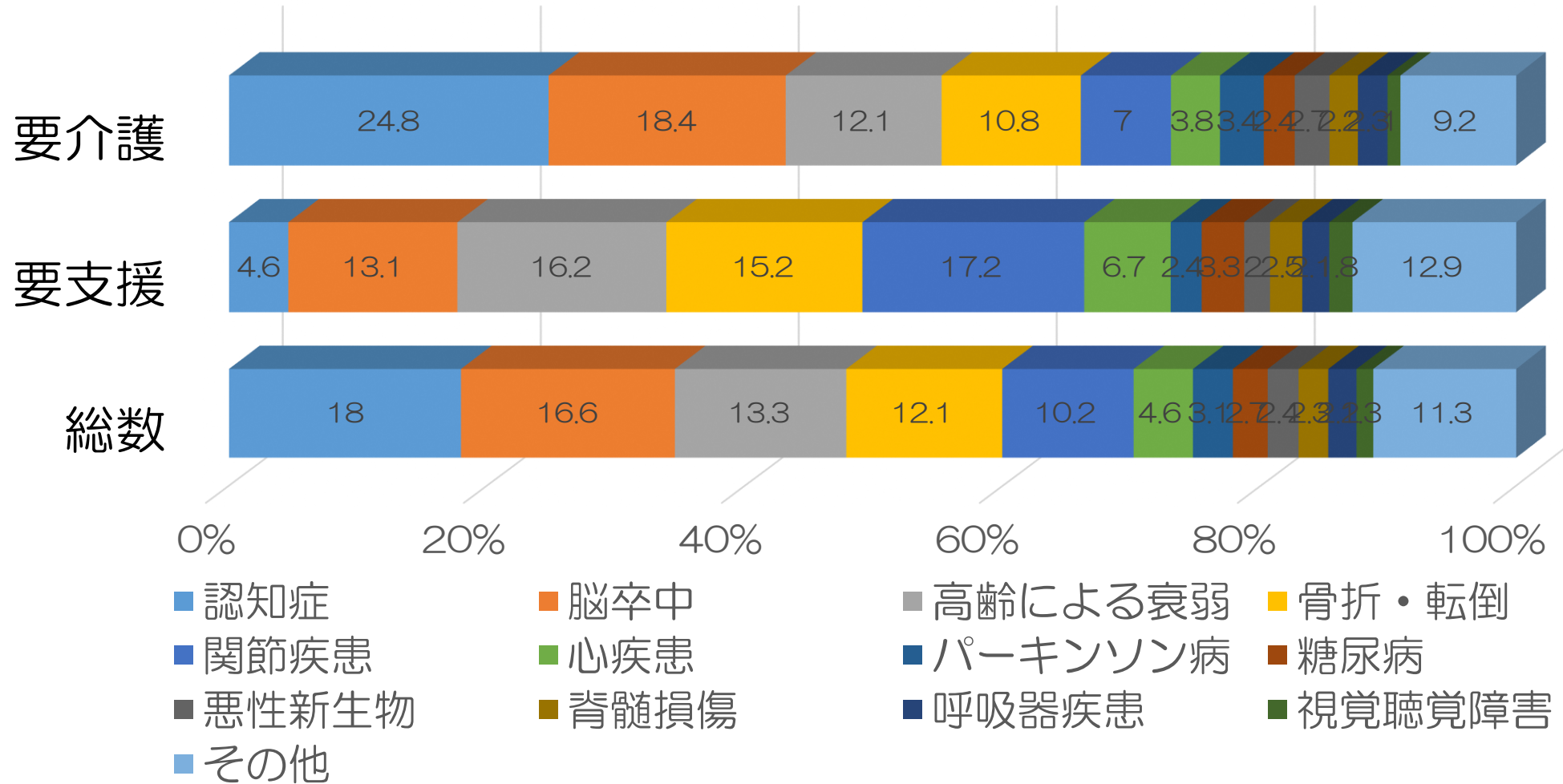
## 現在の健康状態に関する意識調査



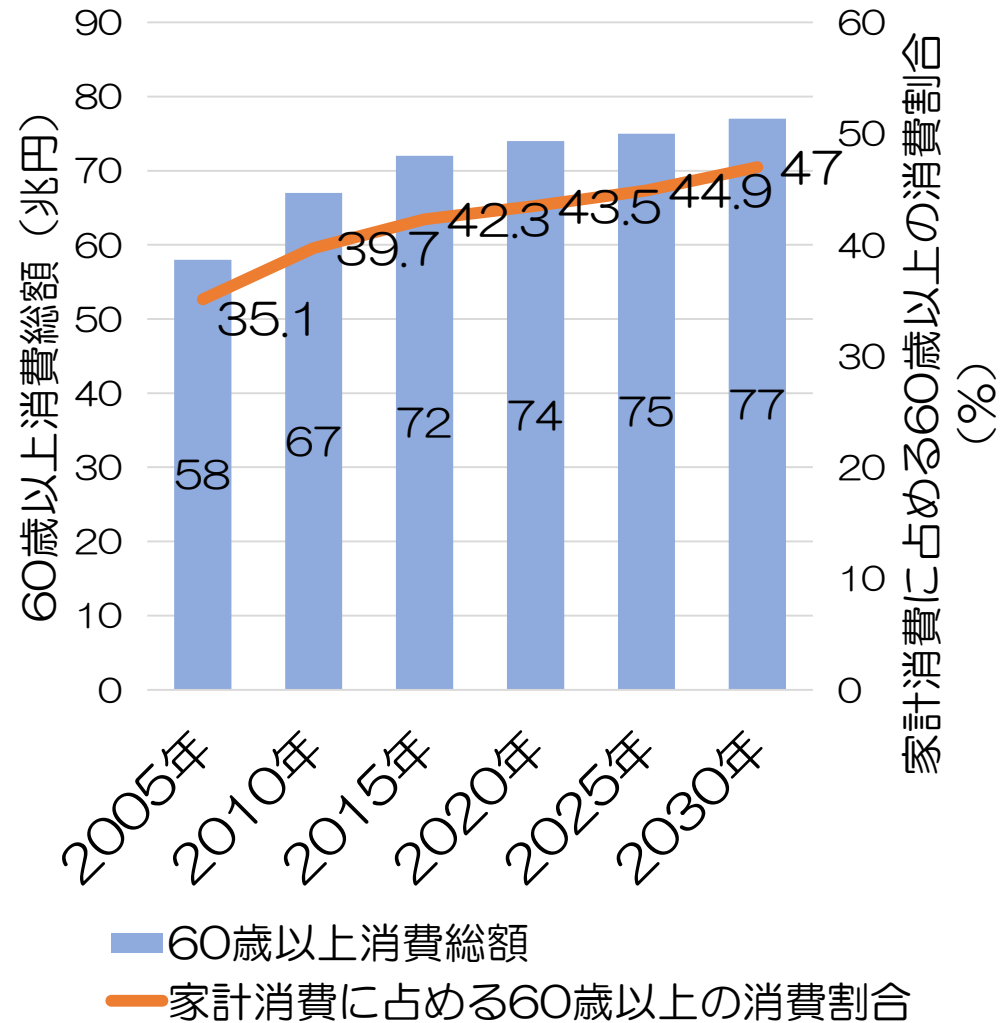
資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」（平成22年）

# 要介護度別にみた介護が必要となった主な原因の構成割合

資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」（平成28年）



# 高齢者の消費とシニア向け産業



シニア向け産業の成長は？		2025年予測 101.3兆円規模に 成長見込 (2007年の 161%)
医療・医薬 産業	サービス (医業・薬業) 器具 (医療機器) 医薬 (治療薬、予防薬) 施設関連費用 (入院費用)	50.2兆円規模に (2007年度の 222%)
介護産業	在宅介護 居宅系介護 介護施設	
生活産業	食料 家具・家事用品 被服用品 交通・通信 教養・娯楽	51.1兆円規模に (2007年度の 127%)

(参考：シルバーサービス振興ビジョン)

# 戦略市場創成プラン（日本再興戦略、H25年6月14日）

## テーマ1. 国民の「健康寿命」の延伸

個別の社会像と実現に向けた取組

①効果的な予防サービスや健康管理の充実により、健やかに生活し、老いることが出来る社会

Ⅱ）解決の方向性と戦略分野（市場・産業）及び当面の主要施策

こうした現状を打開するため、**個人・保険者・企業の意識・動機付けを高めることと健康寿命延伸産業の創出**を両輪で取り組む。これにより、どこでも簡単にサービスを受けられる仕組みを作り、自己健康管理を進める「**セルフメディケーション**」等を実現する。すなわち、意識・動機付けにより潜在市場の拡大を図るとともに、規制・制度の改革・明確化を始めとして、最も効果的・効率的な政策手段を採用することで、健康増進・予防（医療機関からの指示を受けて運動・食事指導を行うサービス、簡易な検査を行うサービスなど）や生活支援（医療と連携した配食サービスを提供する仕組みづくり等）を担う市場・産業を戦略分野として創出・育成する。

# 当法人の行うヘルスケアビジネス

- 益田市の地域課題
- 地域課題を解決するために行ったこと

# 健康・医療分野のテーマと実現すべき社会像

「国民の『健康寿命』の延伸」をあげているが、現状では以下の問題点がある。

- 疾病の罹患率が高く、要介護率が高い75歳以上の高齢者の増加
- 一人暮らしなど家庭内相互扶助が期待できない高齢者の増加
- 医療・介護技術の進歩によるサービス提供水準の高度化

- ① 効果的な予防サービスや健康管理の充実により、健やかに生活し老いることが出来る社会
- ② 医療関係産業の活性化により、必要な世界最先端の医療等が受けられる社会
- ③ 病気やけがをしても、良質な医療・介護へのアクセスにより、早く社会に復帰できる社会

# 医療法人の付帯業務について

医療法人は、その開設する病院、診療所又は介護老人保健施設の業務に支障のない限り、定款又は寄附行為の定めるところにより、次に掲げる業務の全部又は一部を行うことができる（医療法第42条各号）。

## 医療法第42条

第1号 医療関係者の養成又は再教育

第2号 医学又は歯学に関する研究所の設置

第3号 医療法第39条第1項に規定する診療所以外の診療所の開設

第4号 疾病予防のために有酸素運動を行わせる施設の設置（疾病予防運動施設）

第5号 疾病予防のために温泉を利用させる施設の設置（疾病予防温泉利用施設）

第6号 保健衛生に関する業務（国民の保健衛生の向上を目的とした業務）

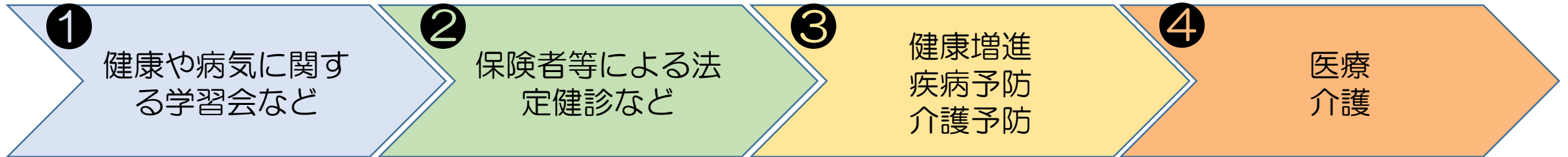
薬局、施術所、衛生検査所、難病患者等居宅生活支援事業、病児・病後児保育事業、介護保険法に規定される介護事業（特別養護老人ホームを除く）、障害福祉サービス事業等

第7号 社会福祉事業（認定こども園など）

第8号 有料老人ホームの設置

# 切れ目のない健康サービスが提供できる仕組み

- ①健康への気づき
- ②法定健診への誘導
- ③結果に関する医師による相談・助言
- ④リスクに対応



- 行政・民間団体
- 公民館単位で行う勉強会
- 介護施設を運営する病院とクリニックの会で行う病気にならないための勉強会

- 特定健診
- がん検診
- ストレスチェック

- 健康増進
- スポーツクラブ食支援
- 生活支援
- ヘルスケア
- 介護予防事業

- 診療所
- 介護事業所



# 益田市の地域課題と地域ニーズ

## 【地域課題】

- ①高齢化率高く高齢者単独世帯が多い
- ②公共交通網の貧弱化
- ③医療提供の限界
- ④協議体やインフォーマルサービスの不足
- ⑤居場所や社会参加出来る場所の不足
- ⑥認知症高齢者の増加
- ⑦人権擁護、虐待防止

## 【地域ニーズ】

- ①自立した生活が送れる地域社会創成
- ②インフォーマルサービスを含めた社会資源の充実

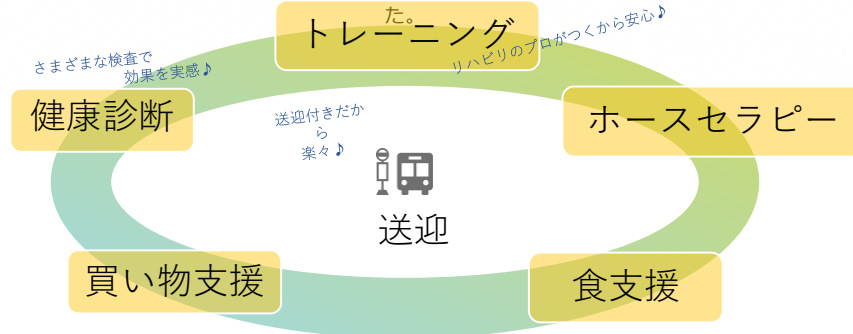
# 心・技・体 ポスター

心も体も  
元気に長生き



## 医療法人あすかがトータルプロデュースする 自立を目指した生活リハビリテーション

「健康の為に何か始めたいけど どうしたらいいの?」「参加したいけど移動手段がない!」  
こんな方はあすかにおまかせ! 市内のサービスを厳選し使いやすく1パックにまとめまし



【協力機関】 社会医療法人正光会 松ヶ丘病院 益田地域医療センター医師会病院 株式会社キヌヤ 株式会社コガワ計画(Mランド) 益田タクシー株式会社 (図不同 事務所)

【お問い合わせ】 〒698-0043 島根県益田市巾島町1454番地1  
あすか福祉センター中ノ島 TEL(0856)-25-7778 FAX(0856)-31-4520 担当: 下田・大垣

## 【はじめに】

高齢者が心身ともに健全な状態で住み慣れた地域において生活を続けるために、リハビリテーション（体力増進や機能向上、機能評価）や心理療法（アニマルセラピー）を行いながら、交通手段の確保による自立支援を目指す総合的プログラムを提供する。

## 【目的】

本事業では療法士がかかわりながら、生活に必要な筋力強化や機能訓練に加え、交通手段を確保しつつ自立支援を目指した生活リハビリテーションを行うことで生活の質を高めていく。

# 心・技・体

週2日参加  
(3グループに分け実施)  
8:30~13:50

- ①運動プログラム  
ストレッチ  
パワーリハビリ
- ②心理プログラム  
ホースセラピー
- ③食支援プログラム  
和食・洋食
- ④生活支援プログラム  
ショッピング  
送迎サービス
- ⑤健診プログラム
- ⑥評価



## 送迎エリア

益田地区・吉田地区・高津地区

その他の地区から参加ご希望の場合  
上記3地区内の拠点にて集合・解散となります

## グループ

Aグループ(月・木) 各グループ8名程度  
Bグループ(火・金)  
Cグループ(水・土) 週2回実施

## 月額利用料

12,000円(税別) ※交通費 食事代不要  
※買い物費用は自己負担

これだけついて  
1回あたり約1,500円

さらにお得!

《運転免許自主返納者割引制度》  
月額利用料から1,000円割引

【お問い合わせ】

あすか福祉センター中ノ島

〒698-0043  
島根県 益田市 中島町 1454番地1

TEL 0856-25-7777

FAX 0856-31-4520

E-mail no2@asukaec.com

担当: 大垣

一般高齢者向け介護予防・健康増進サービス

# 心・技・体

自立を目指した生活リハビリテーション



医療法人 **あすか**

<http://www.asukaec.com>



# 心・技・体

費用は月会費 12,000円（税別）

## 会費に含まれるもの

- ・ あすかトレーニングジム 利用料・指導料
- ・ さんさん牧場 利用料・指導料
- ・ 昼食代
- ・ 交通費（集合場所から解散場所まで全て）
- ・ 血液検査、動脈硬化検査、骨粗鬆症検査

## 会費に含まれないもの

- ・ ショッピングセンターでの買い物代



## 【事業概要】

1. 運動プログラム あすかトレーニング教室
2. 心理プログラム（アニマルセラピー） 松ヶ丘病院（さんさん牧場）
3. 食支援プログラム （きよら、ジローズ・デリ）
4. 生活支援プログラム（買い物・調理実習）  
キヌヤショッピングセンター
5. 交通手段の確保  
市内タクシー会社、プログラム実施施設送迎車輛
6. 評価  
医療法人あすかの療法士による実施
7. 健康診断プログラム  
あすかクリニック（血液検査、動脈硬化検査）  
益田医師会病院（骨粗鬆症検査）



米子、松江両高専と島根大

「心・技・体」

医療法人あすかが行うヘルスケア事業がいよいよ始まりました。

高齢者が「住み慣れた地域」で生活を続けるためには、心身ともに健康であることは言うまでもなく、移動手段の確保や買い物支援などが重要です。

高齢者が「住み慣れた地域」で生活を続けるためには、心身ともに健康であることは言うまでもなく、移動手段の確保や買い物支援などが重要です。



健康な高齢者を育て、健康増進を図った。高齢者は、益田市・中津町・大田市の3市町にまたがる。健康な高齢者を育て、健康増進を図った。高齢者は、益田市・中津町・大田市の3市町にまたがる。

益田の医療法人 高齢者健康トータルケア

高齢者の健康維持に向けた事業として注目される。益田市の医療法人あすかが、高齢者へのヘルスケア事業をスタートさせる。トータルヘルスケア事業のイメージ



Table with 2 columns: '災害不明者' (Disaster Unknown) and '死者' (Deceased). Rows include '安否不明者' (Status Unknown) and '死者' (Deceased) with counts and status.

「医療法人あすか」が行う新規事業『心・技・体』～自立支援を目指した生活リハビリテーション～ 令和元年7月2日からスタート

多分野・多職種による連携

6月26日 水曜日. 山陰中央新報 LINEニュース. 購読申し込み 0120-49-2550

ぎょうの紙面. 夜のイチゴ狩りいかが. 読者ホットライン 0852-32-3333



# あすかトレーニングプログラム



あすかの行う訓練



1. 体力、全身持久力、筋力、筋持久力、柔軟性、心肺機能、バランス能力の維持・改善を図ること
2. 立つ・歩く、起き上がる、座る、階段を上り下りするなどの移動動作能力と日常生活動作の維持・改善を図ること
3. 活動的に日常生活を送り、生活の質を高めること、健康寿命を延ばすこと
4. 生活習慣病や肥満の予防・改善を図ること
5. 筋肉や骨への刺激により、筋萎縮や骨粗鬆症を予防すること
6. ストレスの発散やリラクゼーション効果を得て、心の健康を保つこと

# 機能評価（運動機能）

## 立ち上がりテスト

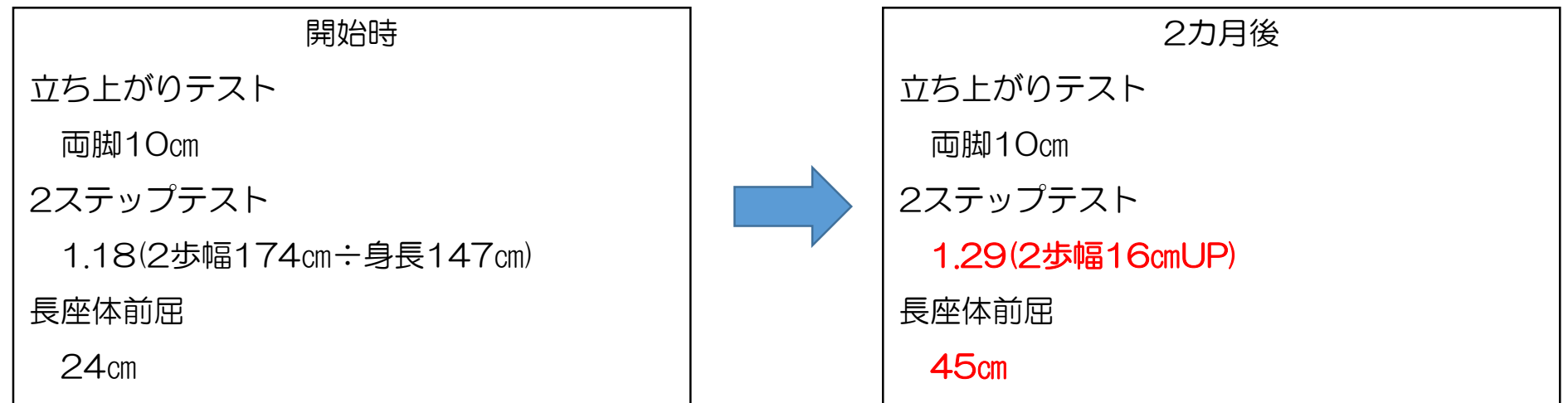
- どれだけ低い高さから立ち上がれるかを測定
- 高さは40cm～10cm
- 10cmで起立可能の場合、片脚のみの起立で再度40cmから
- 下肢の筋力を総合的に判定

## 2ステップテスト

- $2\text{歩幅}(\text{cm}) \div \text{身長}(\text{cm})$  で算出
- 70歳以上の男性1.42～1.52 70歳以上の女性1.36～1.48
- 下肢の柔軟性、バランス能力を総合的に判定

## 長座体前屈

- 長座位から前屈し、距離を測定
- 下肢～体幹の柔軟性を判定

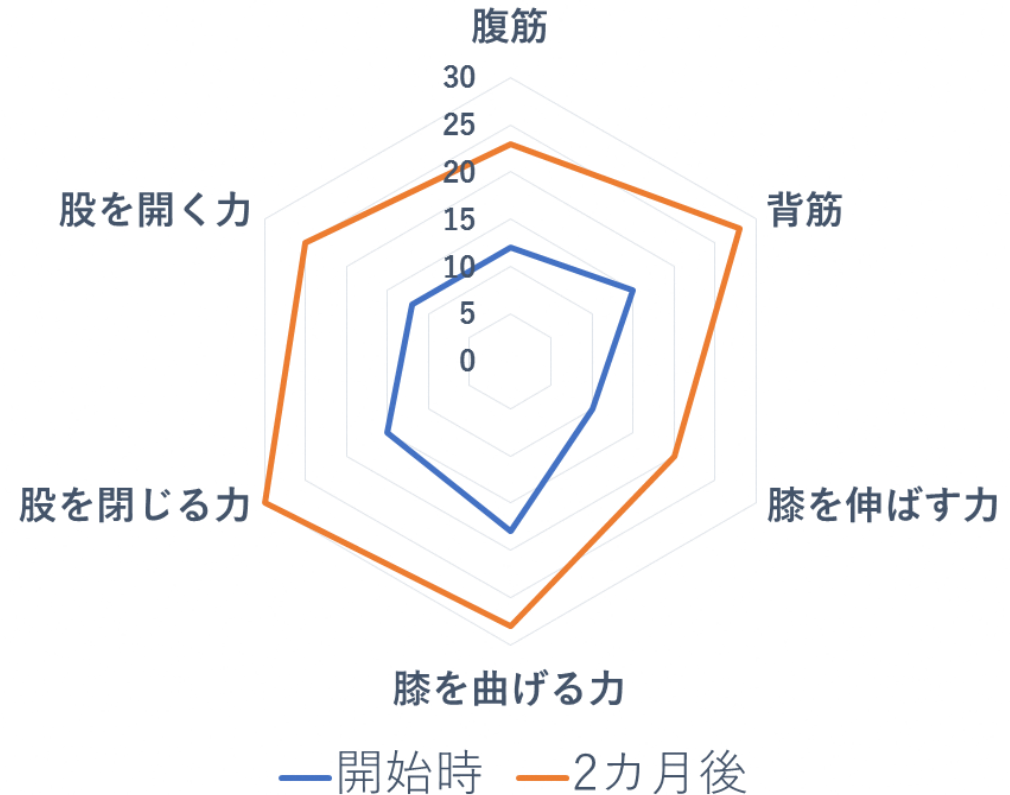


# 機械トレーニング負荷の推移

A氏(80代女性)

運動の目安：“10回できるかできないか”

種類	開始時	2カ月後
腹筋	12kg	23kg
背筋	15kg	28kg
膝を伸ばす力	10kg	20kg
膝を曲げる力	18kg	28kg
股を閉じる力	15kg	30kg
股を開く力	12kg	25kg



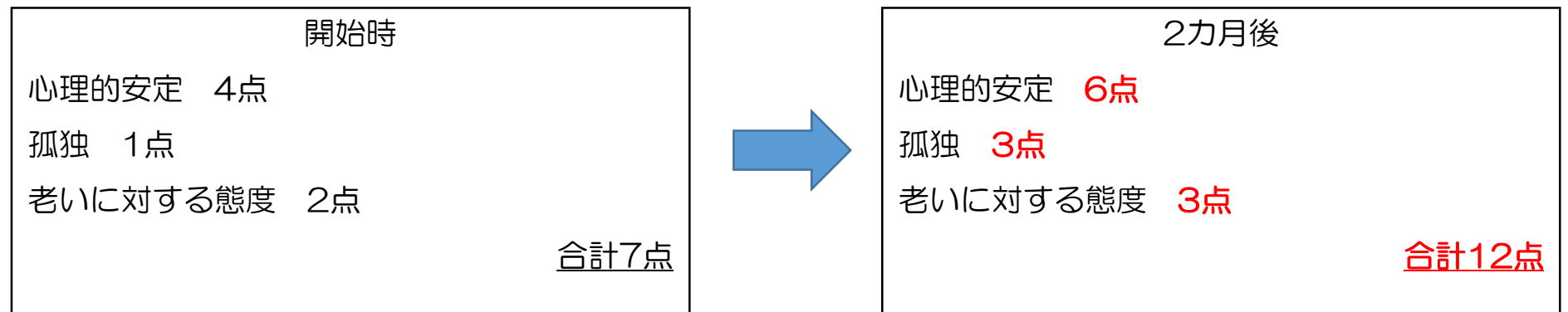
# 心理面の評価

## 改訂PGCモラールスケール

- 主観的幸福度を測定
- 17項目の質問紙法
- 心理的安定、孤独、老いに対する態度の3項目に大別
- 得点が高いほうが、主観的幸福度が高い
- 一般高齢者で11点~12点が平均とされているが、他者と比較するよりは、同一被検者の得点の推移をみることが重要

## 設問（全17項目）

- ちょっとのことでオロオロする方ですか⇒心理的安定
- 家族や親せき、友人の行き来に満足していますか⇒孤独
- あなたは、若い時と同じように幸福だと思いますか⇒老いに対する態度





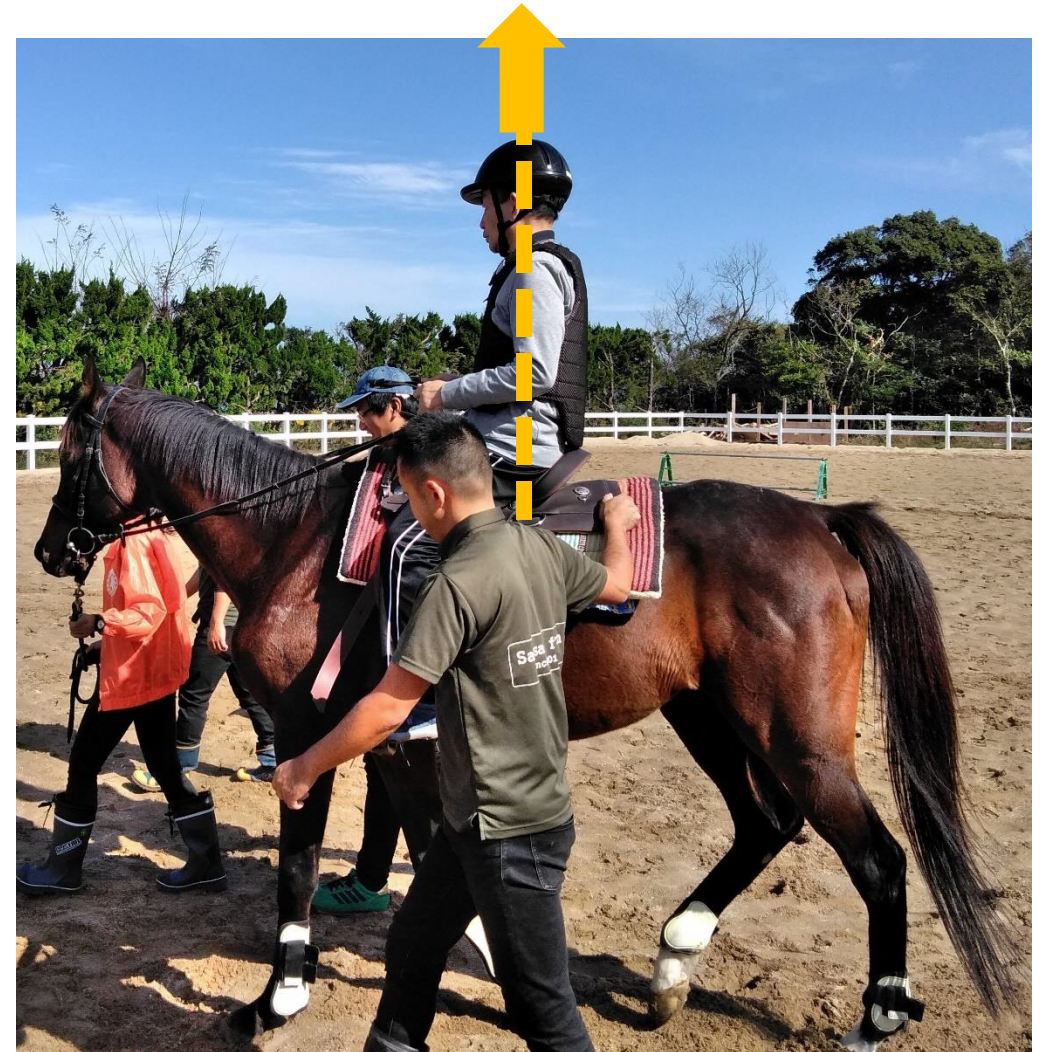
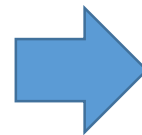
# さんさん牧場（就労継続支援A型事業所）



- 『いつでも、誰にでも、暖かな陽の光が降り注ぎますように』
- 馬に携わる形での就労支援・療育支援
- 乗馬、馬の手入れ、飼育、観察などを通じ、精神機能と運動機能を向上・安定させ、社会適応を促す動物介在療法。
- 作業療法士は職業指導員や生活支援員と協同の下に馬を扱い、支援の一環として馬の力を借り、利用者の日常生活支援、及び、放課後等児童デイサービス対象児の療育支援を行う。



# 乗馬で姿勢保持能力向上！



# ホースセラピーによる効果

身体的効果	精神的効果
全体的な健康の増進	自信・満足感が得られる
筋力の強化・トレーニング	不安や多動を軽減し、嫌悪感や恐怖心・攻撃傾向を減少
柔軟性の向上	意思・感情表現が豊かになる
内臓機能の向上	知覚・運動能力の向上
平衡感覚の発達	対人関係のコツ・積極的な社会性を身につける
脊髄の支持・姿勢の改善	協調性・調和性が身につく

# 高齢者の食生活の特徴とは？

1. 独居や高齢者だけの世帯になると、同じものばかり食べる
2. 買い物や調理が億劫(おっくう)になる
3. 食事そのものへの関心が薄れ、食生活が単調になってしまう
4. 食事の回数が減る
5. 独居や高齢者だけの世帯は、社会的孤立から外出する頻度も減り、運動不足により食欲低下となり、食事量の減少など悪循環を招く
6. 加齢に伴う生理的、社会的、経済的問題は高齢者の栄養状態に影響を与える
7. 低栄養状態に陥ってしまいます。



# 高齢者の代表的な低栄養の要因は？

1. 社会的要因（独居・介護力不足・孤独感・貧困）
2. 精神的心理的要因（認知機能障害、うつ、誤嚥・窒息の恐怖）
3. 加齢の関与（嗅覚、味覚障害、食欲低下）
4. 疾病要因（臓器不全、炎症・悪性腫瘍、疼痛、義歯など口腔内の問題、薬物副作用、咀嚼・嚥下障害、日常生活動作障害、消化管の問題（下痢・便秘））
5. その他（不適切な食形態の問題、栄養に関する誤認識、医療者の誤った指導）

# 『きよら』 or 『ジローズ・デリ』





# ショッピング



食品・日用品の買い物を行うことで…

- 認知機能の維持向上
- 計算力維持向上
- 社会性の維持向上
- 運動機能向上
- 自信の回復

## 【期待できる効果】

### ① 健康寿命の延伸

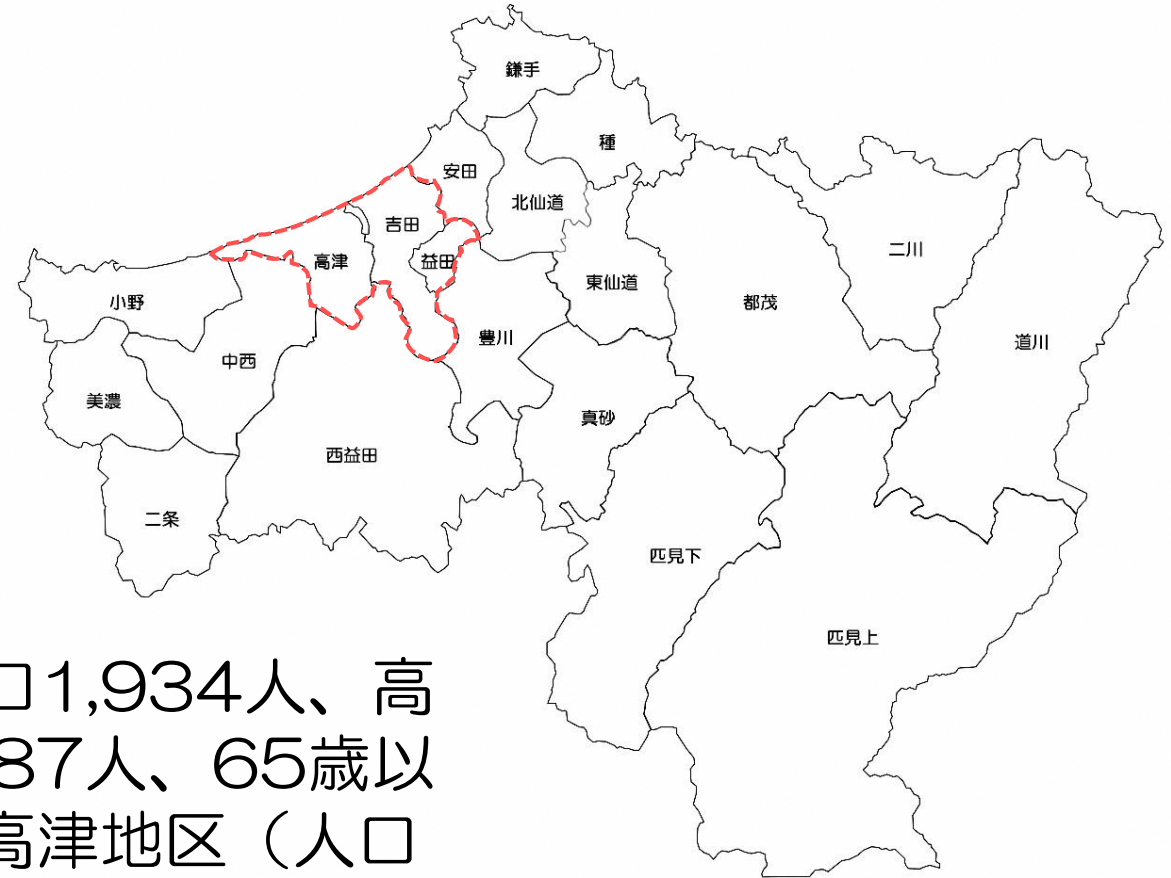
健康増進、疾病予防、精神の安寧

### ② 自立支援

交通手段の確保、居場所の確保  
生きがいの創成

# 利用対象者について

1. 元気で長生きしたい方
2. 体力に自信がない方
3. 社会参加を希望する方
4. 交通手段確保が困難な方 など



益田地区（人口5,880人、65歳以上人口1,934人、高齢化率32.9%）、吉田地区（人口14,187人、65歳以上人口4,353人、高齢化率30.7%）、高津地区（人口8,407人、65歳以上人口2,912人、高齢化率34.6%）

3地区の人口は、28,474人であり益田市人口の59.9%、65歳以上人口は益田市65歳以上人口の53.1%、高齢者単独世帯は益田市の高齢者単独世帯の48.5%である。（補助事業以降は、拡大する予定）

# 利用者獲得について

1. 一般高齢者・特定高齢者（身体的虚弱者、閉じこもり者など）
  - 益田市健康増進課と協働  
保健師の行うチェックシートにより抽出
  - 民生委員との協働  
地域の高齢者への声かけ
  - 地域包括支援センターとの協働  
要支援者への声かけ
2. 要介護者
  - 居宅介護支援事業所と協働
3. チラシ配布等の宣伝活動

# まめな教室（H18年～）

益田市の健康増進課と高齢者福祉課に高齢者への健康増進プログラムを行う必要性を説明し、「行政がやらないなら」と立ち上がりました。

特定高齢者施策として予算がつかないまま、健康増進課には人集めをお願いし、無償で1か月に一度運動指導を行った。その2年後予算化され、現在も継続している。現在では、旧益田市に加え美都地区および匹見地区でも開催している。



# まずだ福祉医療ネットワーク（H19年～）

介護領域の課題を解決！

- 介護支援専門員（以下CM）と医療（特に医師）との連携がとりにくい！
- 困難事例を抱え込みCMが燃え尽きてしまう！

●医師との連携をとりにやすくすべく益田福祉医療ネットワークを発足

○初期メンバーは、松ヶ丘病院坪内健Dr. 十数名のCMでした。

○当初は、困難事例の検討会（相談会）でした。

○1年経過した時点で、運営方針を検討し病気などのミニレクチャーと意見交換を行うこととなり、多職種の方のレクチャーを受けています。

次回開催は7/17

益田保健所保健師川岡氏と坪内先生に

「アルコール依存症」についてレクチャーを受けます。

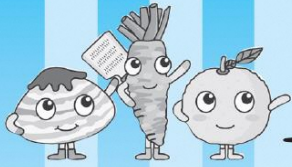
○会を重ねるごとに歯科医、薬剤師、療法士、相談員、益田市職員、包括支援センター職員、益田保健所職員等が加わり、現在は2～30名の参加者のある会議になり、2か月に一度レクチャーと相談会を行っている。

多職種  
連携





特集



体操制作は  
健康ますだ市21推進協議会  
運動部会と協力したよ!

# 益田版 益ます元気体操

「益田版 益ます元気体操」は、運動習慣を身につけ、ますます元気な体づくりをめざし、益田市が制作した健康体操です。毎日の生活に「益田版 益ます元気体操」を取り入れて、健康な体づくりや生活習慣病予防、介護予防を進めましょう。

## ワンポイントアドバイス!

1. 動作は大きく、正確に
2. バランスを崩さないようにリズムカルに
3. 指先まで神経を集中してしっかり体を動かしましょう
4. 無理は禁物  
痛みが出たり息切れ、動悸が出たりしないように
5. 呼吸を止めず、いきまずに
6. 水分補給を忘れずに



監修：あすかクリニック 院長 井上 貴雄  
日本体育協会 公認スポーツドクター  
日本医師会 認定健康スポーツ医



## 医療と介護の連携を目指して、 医療と介護との連携を行うグループ

### ～理念～

- 住み慣れた地域で、人生の最期まで尊厳をもって自分らしい生活を送ることができる社会の創生を目指します
- 医療と介護の連携によって、より質の高い介護を目指します
- 医療機関が行う介護施設のグループ相互の連携をはかることにより、利用者様に適切な医療の提供を目指します
- 益田地域医療センター医師会病院や益田赤十字病院はもとより医師会員との強い連携による、適切な医療提供を目指します
- 介護現場のニーズに即応した医療サービス提供を目指します

#### あすかクリニック

- ◆あすかデイケアセンター（通所リハビリテーション）
- ◆あすかデイサービスセンター（地域密着型通所介護）
- ◆あすかケアホーム（地域密着型特定施設入居者生活介護）
- ◆あすかシルバーホーム（サービス付き高齢者向け住宅）
- ◆あすかヘルパーステーション（訪問介護）

#### 石見クリニック

- ◆ケアサポートいわみ（サービス付き高齢者向け住宅）
- ◆デイサービスいわみ（通所介護）
- ◆ヘルパーステーションいわみ（訪問介護）
- ◆居宅介護支援事業いわみ（居宅介護支援）

#### 金島胃腸科外科

- ◆医療法人金島胃腸科外科介護療養型医療施設
- ◆特定ケアハウスたかつ（特定施設入居者生活介護）
- ◆デイサービスたかつ（通所介護）
- ◆ショートステイたかつ（短期入所生活介護）
- ◆居宅介護支援事業所たかつ（居宅介護支援）

#### 永瀬脳外科内科

- ◆小規模多機能ホーム「すみよし」（小規模多機能居宅介護）
- ◆デイサービス「すみよし」（通所介護）
- ◆小規模多機能ホーム「まほろば」（小規模多機能居宅介護）
- ◆デイサービス「まほろば」（地域密着型通所介護）
- ◆ケアプラン「すみよし」（居宅介護支援）

#### 松ヶ丘病院

- ◆グループホームさくら（認知症対応型共同生活介護）
- ✓ きよら（自立訓練施設）
- ✓ 松の葉（グループホーム）
- ✓ 認知症デイケア（医療保険）
- ✓ サポートセンターF0H

（50音順、発足平成29年11月）

#### 【グループの特色】

このグループの特色は、**医師が係ることで様々な状態の方が安心**して生活して頂ける『居住型サービス』と、通いながら専門性の高い機能訓練や身体的介護を受けて頂ける『通所系サービス』および自宅で生活の支援を行う『訪問系サービス』があり、多様なニーズにこたえられます。また、介護や療養の相談や介護サービスの調整を行う『居宅介護支援事業』もあります。

### 「介護施設を運営している病院とクリニックの会」

2019/11/9

## 介護施設運営病院医師ら有志

# 講演会を 得意の領域生かす 定期開催



勉強会の開催に向けて話し合う井上興健院長（左から4人目）らメンバー

それぞれ専門分野を持つ医療機関が連携を強化し、高い医療、介護情報を提供することで、住民が住み慣れた地域で生活できる環境をつくらんと、あすかクリニック（益田市中吉町）の井上興健院長がグループ結成を呼び掛けた。

石見クリニック（同市駅前町）、金島胃腸科外科（同市高津十丁目）、永瀬脳外科内科（同市土井町）、松ヶ丘病院（同市高津十丁目）が賛同し、2017年11月に設立。活動内容を検討し、講演会の定期開催を決めた。2カ月に1回、メンバーの医師らが講師を務め、健康維持や病気の対処法を伝える。

18年11月には、グループ設立を記念したシンポジウムも予定している。

7日午後2時からの講演会は、第1部で井上院長が「あなたの骨は大丈夫？」と題し、骨粗しょう症などについて講演。医師やケアマネジャーが介護の悩みを

# 市民の健康増進へスクラム

益田市内で介護施設を運営している病院やクリニックの医師有志がグループを結成し、市民の健康増進に向けた講演会を定期的に開催。第1弾として、病気にならないための勉強会を題した講演会を7日、

同市駅前町の市立保健センターで初めて開催。それぞれの専門の医療分野を担うメンバーたちは「得意の領域で市民に役立つ」と意気込んでいる。

吉岡弘樹

「介護施設を運営する  
病院とクリニックの会」  
定例会議 風景  
山陰中央新報掲載（平成30年7月7日）

拒否会を開く。第2部では、管理栄養士による白米予防のための調理実演を行う。参加無料で事前申し込み不要。第2部は定員30人としている。

井上院長は、勉強会を通じて、市民に病気の備えを知ってもらうとともに、医療機関が連携を強化し、利用者が必要な医療・介護を受けられるようにしたい」と意気込んでいる。

ヘルスケアビジネス実例セミナー（大田市）

46



介護施設を運営している病院とクリニックの会

設立1周年記念シンポジウムプログラム

テーマ『長寿の秘訣』

日時：平成30年11月10日 土曜日

14:00 ~ 16:30

場所：益田市立保健センター3階 大ホール

-プログラム-

1. 開会の言葉 介護施設を運営している病院とクリニックの会 会長 井上貴雄

2. 記念講演 14:05~14:35 (司会：石見クリニック 山野井 彰)

演題『生活習慣病の予防と健康管理

~長生きの秘訣は、お付き合い~』

講師：島根県益田保健所 所長 中本 稔 先生

3. シンポジウム 14:35~16:25 (司会：石見クリニック 山野井 彰)

シンポジウム (その1) 講演 14:35~15:50

- |                       |          |       |
|-----------------------|----------|-------|
| ① 長寿のための身体能力とは？       | あすかクリニック | 井上 貴雄 |
| ② 脳卒中にならないために         | 永瀬脳外科内科  | 永瀬 章博 |
| ③ がんの遺伝子治療            | 石見クリニック  | 大森 治樹 |
| ④ 精神科医も年をとる           | 松ヶ丘病院    | 越智 斉子 |
| ⑤ 100歳長寿の生き方からみた長寿の秘訣 | 金島胃腸科外科  | 金島 新一 |

休憩 (シンポジスト登壇準備と質問票回収) 15:50~16:00

シンポジウム (その2) 討論 16:00~16:25

4. 閉会挨拶 介護施設を運営している病院とクリニックの会 会長 井上貴雄

主催：介護施設を運営している病院とクリニックの会 後援：益田市、島根県益田保健所、公益社団法人益田市医師会

益田の医師グループ 結成1周年

1周年記念のシンポジウムで市民の質問に答えるグループのメンバーたち



横のつながり一層強化へ

益田市内で介護施設を運営している5病院・クリニックの医師有志が結成したグループの活動がこのほど、1周年を迎えた。それぞれ専門分野を持つ医療機関が連携し、市民向けの無料講演会などを定期的に開催。患者のニーズに合った病院や介護施設を紹介し合ったり、合同の勉強会を開いたりして関係を深め、地域医療を支える体制を強化している。

(古瀬弘治)

グループは、あすかクリニック(益田市乙吉町)の井上貴雄院長の呼び掛け

高齢化の進展を見込み、グループのメンバーは「介護と医療の連携を一層強く

病院紹介や市民講演会  
医療と介護向上へ  
専門分野連携進む

病院紹介や市民講演会

に、石見クリニック(同市駅前町)、金島胃腸科外科(同市高津1丁目)、永瀬脳外科内科(同市土井町)、松ヶ丘病院(同市高津4丁目)が賛同し、昨年11月に結成した。

「これまで、市民向けの講演会を定期開催。メンバーが「骨粗しょう症」や「便秘」など身近なテーマを取り上げ、健康法を伝授した。1周年を記念したシンポジウムは「長寿の秘訣」をテーマに講演や意見交換などを行い、市民ら約300人が長生きの極意を分かちやすく学んだ。

グループ内の情報交換や協力も進む。ケアマネジャーが患者の容態に合わせ、グループ内の適切な病院を紹介するなど「患者第一」の対応に努める。各病院が個別に開いている研修会への職員の相互参加が功を奏しており、他の病院の特色に対する理解も進んだ。金島胃腸科外科の金島新一院長は「職員の知識も増え、意識も変わってきた」と効果を分析する。

平成30年11月10日  
病気になるしないための勉強会  
シンポジウム「長寿の秘訣」  
益田市EAGA大ホール

# まとめ

1. 背景と問題意識を
  - 高齢化の推移と将来推計
  - 高齢者の有訴率と日常生活への影響
  - 社会保障と医療費
2. ヘルスケアビジネス
  - 健康寿命延伸
  - 社会保障費の増大の抑制
3. 当法人の行うヘルスケアビジネス
  - 益田市の地域課題
  - 地域課題を解決するために行ったこと



# ご清聴ありがとうございました

本日ご参加の皆様方の、健康とご多幸をお祈りいたします。

医療法人あすかは、  
これからも益田市民のために、医療・介護・介護予防・生活支援など様々な活動してまいりたいと思います。

